



宮本昌雄 <横浜山手春秋譜>1979年/紙本着彩/182.5×227.7cm

横浜市民ギャラリー
収蔵作品展

2005

横浜を描く

—かわりゆく風景、かわらぬ風景—

会 期：2005年9月3日(土)－9月23日(金)祝

10:00－18:00 (会期中無休)

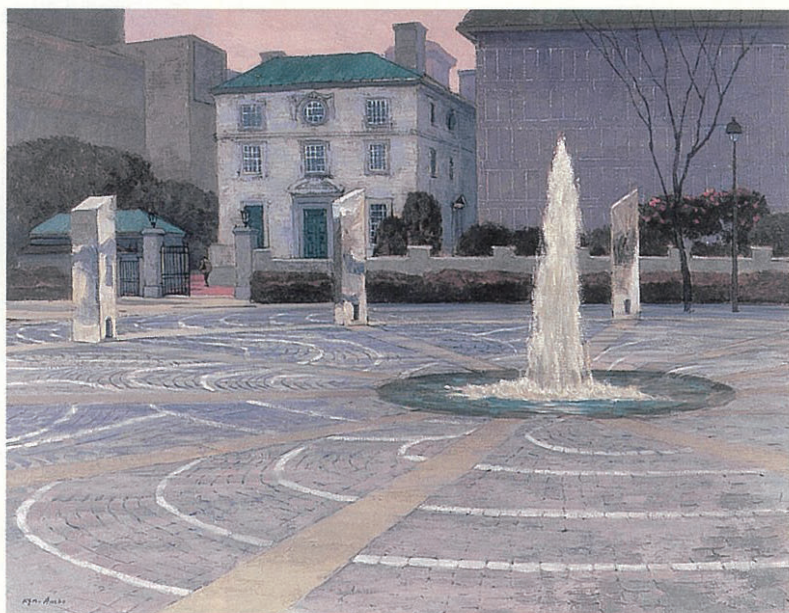
会 場：横浜市民ギャラリー 1・2 階展示室

〒231-0031 横浜市中区万代町1-1 教育文化センター内

TEL:045-224-7920 FAX:045-224-7928

URL: <http://www.city.yokohama.jp/me/ycag/>

入場料：無 料



安保健二 <開港広場と旧イギリス領事館> 1988年/キャンバス・油彩/91.0×117.0cm

横浜を描く

—かわりゆく風景、かわらぬ風景—

約1300点の横浜市民ギャラリー収蔵作品の中から、横浜の風景を描いた絵画や、撮影した写真約90点をご紹介します。

横浜市民ギャラリーは、1964年に桜木町駅前に開設し、1974年に関内駅前に移り、現在に至っていますが、その間、横浜にゆかりの作家や企画展の出品作家の作品の収集を行ってきました。中でも、1979年の横浜の開港120周年に合わせて開催した「横浜百景展」や、1988年の横浜・上海友好都市提携15周年記念として開催した「横浜美術展～横浜百景～」の際に、市内在住の作家たちが横浜をテーマに作品を制作し、展覧会後に市民ギャラリーに収蔵された一連の作品群

は、それぞれの作家が独自の表現手法によって、横浜の表情をどのように切り取ったかを知ることのできる興味深いものです。またそれらは、横浜の風景の移りかわりを知ることのできる記録でもあります。都市開発などで消えていった懐かしい風景もあれば、今もかわらない風景もあります。本展では、それらの作品群の一部や、その他の機会に収蔵された作品を展示します。

また、その中の小特集として、中区生まれの日本画家・宮本昌雄（1917年生まれ）の作品21点を展示します。宮本昌雄は、定年退職するまで横浜・子安の鉄鋼会社の工場勤務をしながら、院展を主な発表の場として、勤務地の工場地帯の風景や、住まい近くの山手の風景を描いてきました。米寿を迎えられた現在も、異国情緒あふれる山手の四季を、大胆かつ緻密に構成し、独自性にあふれた心象風景を発表しています。市民ギャラリーでは、「工場シリーズ」「山手シリーズ」の典型的な作風を知ることのできる、画家の1950年代から90年代の作品を収蔵しています。

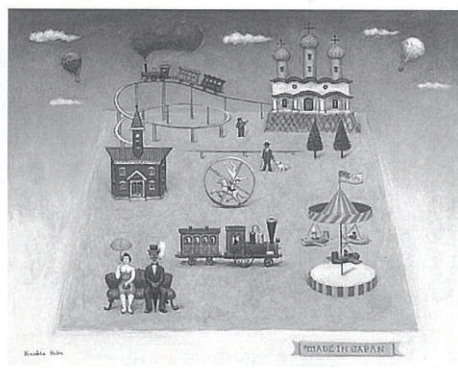


宮本昌雄<工場71>
1971年／紙本着彩／130.0×160.0cm



青木一美<三吉館>
1979年／水彩・紙／29.6×39.8cm

横浜市民ギャラリー 収蔵作品展 2005



馬場橋男<ドリームランド>
1979年／油彩・キャンバス／91.0×116.0cm



浜口タカシ<滝頭車庫>
1972年／ゼラチンシルバークラウド／36.5×49.8cm

横浜風景 情報コーナー

展示室には、来館者参加のプログラム「あなたが描きたい／撮りたい横浜の風景を教えてください」を用意しています。これは、来館者がおすすめる横浜の風景を、アンケート形式で伝えていただき、ボランティアスタッフと一緒に、会場の地図パネルに印を入れていくものです。また、この地図パネルは、ボランティアの地図づくりサポーターが、事前にミーティングを重ねて作ったもので、展示作品に描かれた場所の今の様子や、その場所の歴史などの情報が盛り込まれています。横浜の風景を愛する人たちや、自ら風景画や風景写真を手がける人たち同士が、情報をわかちあえる場として、楽しんでいただけたら幸いです。

「横浜風景トーク」(ギャラリートーク)

9月17日(土) 14:00-15:00

宮本昌雄(画家) & 日夏露彦(美術評論家) 2階展示室内にて

当日会場にお越し下さい。

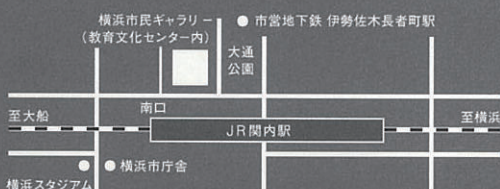
横浜市民ギャラリー

横浜市中区万代町1-1教育文化センター内

TEL 045-224-7920

FAX 045-224-7928

URL <http://www.city.yokohama.jp/me/ycag/>



【横浜市民ギャラリー】JR関内駅下車南口から徒歩1分／
横浜市民ギャラリー伊勢佐木町駅下車2番出口から徒歩3分

出品内容は諸般の事情により変更になる場合があります。